

おわりに

21世紀を間近に控えた現在。我が国の社会状況はめまぐるしく変化し多様化しています。国際化・情報化・高齢化が進むにつれ 学校教育も多くの面で改革を求められています。総合学習や情報教育の推進 学校週5日制完全実施を視野に入れた教育課程づくり 個別指導計画にもとづいた指導 インフォームドコンセントにもとづく教育の推進 そして今年度からは介護等体験実習が制度化されスタートしました。

本校においても 社会の変化に対応すべく これまでの教育実践や研究の成果を整理しながら 教育課程を再編する時期ととらえ本年度からの研究に着手しました。

小学部では からだづくりをとりあげました。子供達の学校生活全体をみわたし その中でもからだづくりをどのようなねらいで どのようなグループで どのような内容や方法で行えばよいかを検討しました。研究を通して 子供達の豊かな心と生活を築いていく上で「うごき」に注目したからだづくりが大切であることを確認しました。より効果的な内容や方法について今後深めていきたいと思えます。

中学部では フリーデイという日を設定して 子供達に育てたい力とはなにかという課題に取り組みました。個々の授業や生徒の学習を論ずる前に 学習者である子供達が興味・関心をもって主体的に学ぶことや友達や先生とかかわることができないか。そのための条件や環境設定はどうあればよいかなどといった 教育の根本的な課題に取り組みました。その結果 学習者・指導者双方にとって大切にしなければならないことが分かってきました。これらのことを実際の教育課程にどういかしていくかがこれからの課題だと思えます。

高等部では 10数年来実践してきた挑戦学習と教科別の指導との関連や違いなどを比較分析し それぞれの学習の良さを補完した教科指導のあり方を探ってきました。そして本校の教育課程に位置づける試みを通して今後の課題を明らかにしてきました。教科別の指導については今後とも実践研究していかなければならないと思っています。

今年度の研究は どの学部においてもまだ緒についたばかりです。教育課程の再編をめざした取り組みは今後 2、3年継続していくつもりです。多くの方々の忌憚のないご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

(辻 俊)